

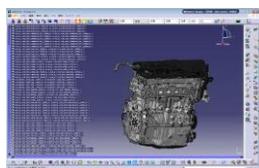
設計CADデータのCG活用を推進。
トヨタグループ共通ソリューションとして安価にご提案。

CG制作KIT（仮）

かんたん2ステップでCGデータに変換し、CG活用の準備を手助け

STEP 1

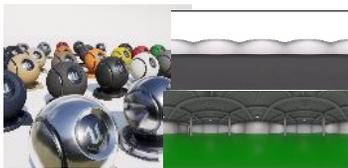
CADデータインポート



設計CADデータ取り込み

STEP 2

素材と環境を選ぶ



CADの色情報を活用し
自動で素材を割り当て

閲覧・活用する

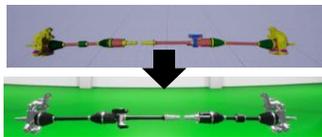


CGに変換し
簡単操作で商品閲覧を実現

CG制作KIT（仮）を使うとこんなことができます

質感表示・閲覧

・質感がついた状態で
360°閲覧



形状移動

・ものを掴む感覚で
形状移動可能



透過表示

・形状を透過させて
表示



マーカー

・3D空間内への
書き込みが可能



断面表示

・形状の断面をカット
して表示



線画表示

・どの角度からでも
画像出力可能



距離計測

・2点間の距離を
計測可能



VR閲覧

・簡単にその場でVRで閲覧
・VR空間内での
形状の移動や距離計測が可能



今後、機能発展を検討中

グループ各社のニーズをヒアリングしながら機能強化を検討

例) 簡易AR/VR活用、アニメーション対応、シミュレーション結果（数値）の可視化

Q & A

CG制作KIT（仮） 詳細仕様

Q. ファイル形式は何が読めますか？

A. CATIA v5 (CATPart・CATProduct) に対応。
以後、順次他CADフォーマット対応に拡大を検討しています。
(メッシュ化されたデータも検討中)

Q. 3Dデータをクラウドサーバーへアップする必要はありますか？

A. クラウドサーバーへの接続の必要はございません。
ローカルPC上での起動で、利用可能です。

Q. CGアプリケーションは何を利用しますか？

A. Unreal Engine 4 (4.25) を利用します。
※各社ご要望に応じて、Unityなども視野に入れていきます。
※UE4は産業商業利用の場合、無償で利用できます。

Q. マテリアルは自分で作成できますか？

A. 新しく作成することができます。CG制作KIT（仮）は、
CGアプリケーション上で起動するプラグインのため、
CGアプリケーションの基本機能はすべて利用できます。
※プリセットマテリアルの拡張も検討していきます。

Q. 背景は差し替えられますか？

A. 現在、ご自身でとられたHDR画像を取り込むことはできません。
プリセットで環境をご用意いたします。
※将来、インポート機能拡充を検討していきます。

Q. 必要な機材はなんですか？

A. 一般的な3DCGを利用できるワークステーションPCを推奨しています。

Q. ライセンスについて

A. ノードロックライセンスです。価格はお問い合わせください。

CG制作KIT（仮）はみなさまのご要望、ご意見をお聞きし、トヨタグループ横断の
共通ソリューションとしてより活用しやすいよう改良を続けたいと思っています。
是非、CG活用においてお気軽にご意見をお聞かせください。



株式会社 トヨタシステムズ CG事業推進部

Mail : cg.support@ml.toyotasystems.com

URL : <https://www.toyotasystems.com>